

# 子育て世代応援

## ～ひとりひとりに応じたサポートを実施しています～

市では、令和3年度に母子健康包括支援センター「おひさま」を開設して、妊娠期から子育て期を安心して過ごせるように、出産から子育てまで切れ目のない支援で、みなさまの子育てを応援しています♪

保健センター内の「おひさま」専用ルームに助産師が常駐し、いつでも気軽に相談できることが本市の特徴です。

初めて妊婦さんにお会いする妊娠届時の面接を大切にしています。ひとりひとり状況が違いますので、体のこと、家庭や仕事のこと等寄り添う気持ちで悩みや思いをしっかり聞き取り支援を行っています。

産後ケア事業では乳房ケアや骨盤ケア等、日替わりで常駐する助産師の得意分野を活かして相談者の悩みに応じています。また、今年度4月から、産後ケアの自己負担額が、5回目まで(1回上限2,500円)減免支援できるようになりました。また7月からは、産後ケア宿泊型も開始しています(詳しくはホームページをご覧ください)。

子育てに関する情報や子育てを支援するさまざまなサービスをまとめた冊子「大きくなあれ」を妊婦さんや必要とされる方にお配りしています。

また、母子手帳アプリ「おひさま」も、便利ですのでぜひご活用ください♪



「大きくなあれ」冊子を持つ石井助産師

母子モ(ボンモ)で検索!

アプリストアからダウンロード

母子モ 検索



渡邊保健師

「おひさま」で助産師と一緒に妊産婦さんを支援し、必要時には病院受診や福祉サービスの案内・調整をさせていただきます。

妊産婦さんだけでなく、その家族である子どもや高齢者の方まで様々な世代の市民の健康に関する相談、健診、情報発信等も行っています。

地域の「保健室」と思ってください、気軽に何でもご相談ください。

昨年度までコロナ禍の影響で中止していた、離乳食講習会の試食を再開しました。講習会では保護者に試食をしてもらい、「ごっくん期」「もぐもぐ期」「かみかみ期」と月齢に応じた味付けや固さなどを体験してもらいます。お子さまが、「離乳食を食べない」「嘔まずに飲み込んでしまう」等、いろいろな相談を伺うので、各家庭の状況や生活リズムなどを聞いて、原因を探り、工夫の仕方や解決の糸口をお伝えしています。



本田栄養士

市では、心強い保健医療のプロたちが、皆さまの子育て、健康な生活をサポートしています。お気軽にご相談ください。(関連記事P14「保健だより」)

### オンライン妊産婦・赤ちゃん健康相談

日程	定員	相談時間
9月26日 (火)	3名 (①～③各1名)	①午前9時30分～10時 ②午前10時30分～11時 ③午前11時30分～正午

料金は無料ですが、通信料は利用者負担です。

【対象者】小松島市に住民登録のある妊産婦、乳児のいる父母の方

※Web会議システム「Zoom」を使用して、自宅にいながら助産師に育児や妊娠中の相談ができます。ご希望の方は、「おひさま」へ9月20日(水)までに電話またはメールでお申し込みください。



問 // お問い合わせ先

市母子健康包括支援センター「おひさま」 ☎ 38・7500 ✉ ohisama@city.komatsushima.i-tokushima.jp



2023年(令和5年)9月5日  
広報こまつま

小松島市役所 代表 ☎ 32・2111 〒 773-8501 徳島県小松島市横須町1番1号  
電話番号に市外局番の記載がない場合、市外局番は「0885」です。